

生分解性マルチ(コーンマルチII)の効果確認試験

JA北いしかり

岩中 和則



コーンマルチ 6月9日



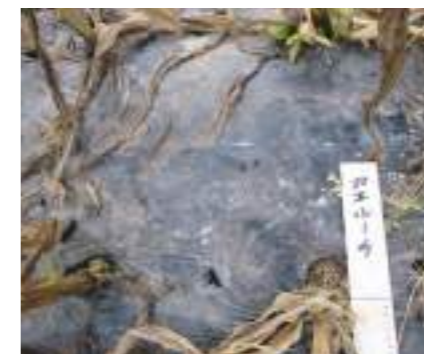
コーンマルチ 9月17日



コーンマルチ 11月1日



カエルーチ 6月9日



カエルーチ 9月17日



カエルーチ 11月1日

試験目的

新規生分解性マルチ資材の普及性の確認

試験作物及び品種

かぼちゃ(虹ロマン)
スイートコーン(ゴールドラッシュ、ピュアホワイト)

試験資材及び数量(規格)

コーンマルチII(0.018mm×135cm×200m) 黒色・無孔 1本

慣行資材

カエルーチ(0.018mm×95cm×200m) 黒色

栽培方法

播種日	定植日	【栽植密度】
スイートコーン: 5月7日~5月15日(直播)	かぼちゃ:5月7日	かぼちゃ(畦幅360cm、株間60cm) コーン(畦幅75cm、株間30cm)

資材使用期間

5月7日~9月20日

試験区面積

各作物500㎡

試験結果

(1)作業性について(慣行品との比較)

慣行資材と比較し、マルチ張り作業に差がなく、鋤き込み作業も容易に行うことができた。

移植時の穴あけ作業で、粘りがあり作業がややしにくかった。穴あけ器具にビニールが繋がってきた。

(2)作物の生育状況または、収穫への影響

生育状況、収穫時期、収量に差は見られなかった。

(3)栽培管理上の優位点あるいは問題点について

【優位点】: 慣行のマルチと使い方が大きく変わらな
い点。

【問題点】: マルチの粘性が高く作業に支障が出る。

(4)資材の強度・耐久性・崩壊性について

両資材とも展張から鋤き込むまでマルチが大きく裂けたりすることはなかった。鋤き込み時降雨気象から土壌水分が多く、明確な判断はできなかったが、慣行のカエルーチと変わらず特に問題はない。

(5)雑草・病害虫の発生について

病害虫は両資材とも差がない。

雑草の発生で一部裂ける部分が見られたが、大きな影響は見られなかった。

モニター感想

マルチ張りの作業性には問題ないが、穴あけ時にホーラーに粘りつくので作業がしにくい。

穴開け作業時にホールに繋がってくるので改善が必要。

JA担当者の感想(購買部生産資材課 大居主任技師)

マルチ張り作業、供試作物の生育には差は見られないが、マルチ張り作業で粘りが作業性を悪くしている。粘りを改善するか用途に合わせて有孔マルチがあるとよい。

今年は9月、10月の天候が悪く、降雨日が多かったことから鋤き込み作業等の判断、その後の分解等に対する判断も難しいなかで経過している。

今後の使用について

改良して欲しい。
特に差が見られないが、粘りが改良されれば使用する。

1 高温対策

2 害虫忌避効果

3 調光フィルム

4 クリンテート

5 機能性マルチ

6 育苗資材

7 不織布

8 その他